令和 3年 3月 31日
道総研 中央水産試験場
（令和3年9月9日追記）

令和２年度　ニシン漁獲物調査速報（号外３）

1～3月に実施しているニシン漁獲物調査の結果を随時お知らせしています。
3月29日に石狩地区と厚田地区において石狩湾漁協青年部が実施した「ニシン漁期終了後試験調査」の結果をとりまとめました。調査では6種の目合（1.6寸、1.8寸、2.0寸、2.1寸、2.2寸、2.3寸）を用いてニシンの試験操業を行いました。

【結果】

■採集状況（表1）

今年度も両地区ともに多くのニシンが採集され、3月末にも来遊が続いているようです。漁獲量の合計は、石狩地区で680kg、厚田地区では日網で117kgでした。

表1　採集物の内訳

	目合	1.6寸	1.8寸	2.0寸	2.1寸	2.2寸	2.3寸	合計
石狩地区 3月29日	漁獲重量(kg)	310	98	72	76	64	60	680
	漁獲尾数	1,330	409	286	288	226	197	2,736
	平均尾叉長(mm)	284	290	292	296	300	304	290
	平均体重(g)	233	239	252	265	285	303	249
厚田地区 3月29日	漁獲重量(kg)	－	0	50	67	0	－	117
	漁獲尾数	－	0	188	252	0	－	441
	平均尾叉長(mm)	－	－	293	293	－	－	125
	平均体重(g)	－	－	266	266	－	－	114

※厚田地区の2.0寸と2.1寸は込みで測定

■魚体と年齢（図1）

漁獲されたニシンの尾叉長は、石狩地区では21～33cm台、厚田地区では26～32cm台であり、両地区とも29cm台が最も多く漁獲されました。年齢は両地区とも高齢魚の割合が高く、5年魚（2016年級）が全体の約半数（石狩52%、厚田47%）を占め、5年魚以上でみてもその割合は石狩で75%、厚田で70%でした。

■成熟状態

漁獲物の成熟状態は、雌雄とも完熟個体がほとんどを占めていましたが、ヌケ（産卵後）個体も一部混ざっていました。従って、4月に入っても、しばらく産卵来遊が続く可能性があります。

■ニシンの特徴

今回採集されたニシンは、これまでの石狩湾系ニシンと比べて、サイズの割に高齢魚が多く（成長が遅くみえる）、例年ですと3月末には少なくなる5年魚以上の成熟魚が主体となっていたことなどから、北海道サハリン系など別系群である可能性があり、今後脊椎骨数などの特徴も含めて分析する必要があります。

※その後の分析から、脊椎骨数は非石狩湾系の特徴を示していることが分かりました（図3、追記：令和3年9月9日）。

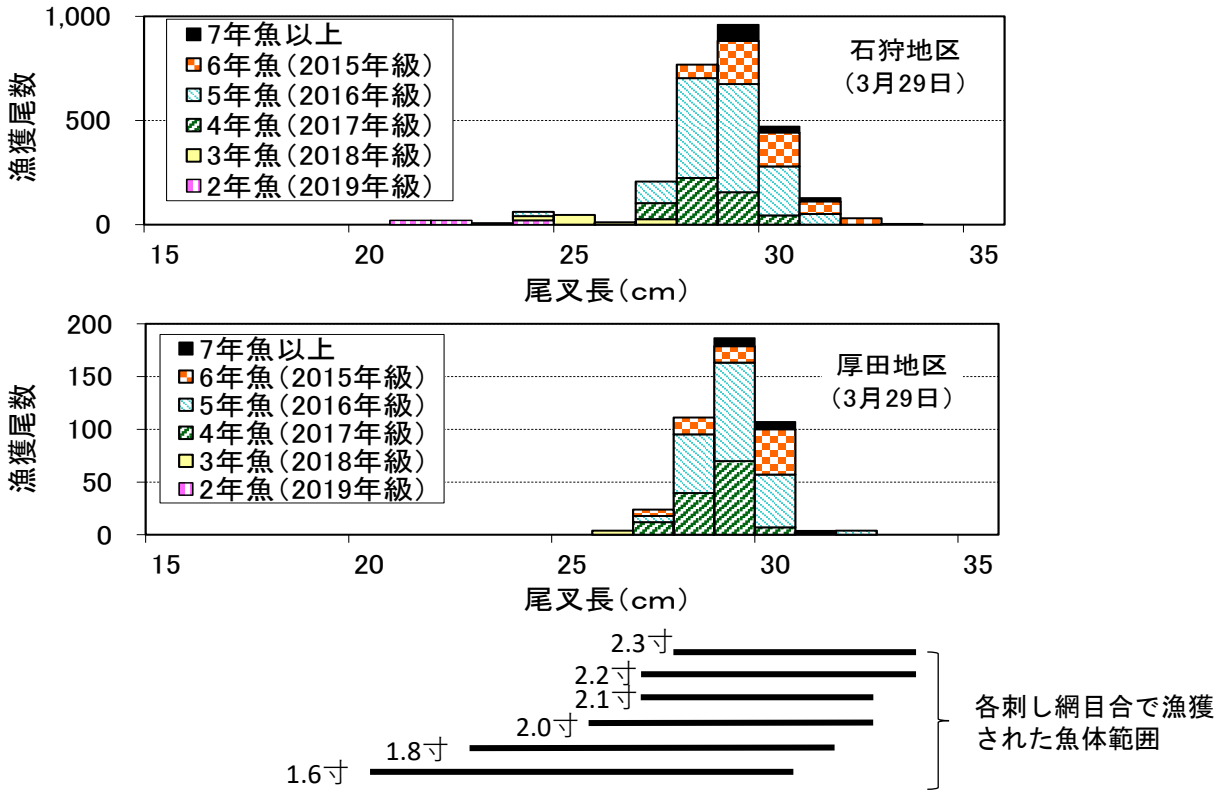


図1　2021年3月29日　石狩・厚田地区　年齢別尾叉長組成

■規格外のニシン（図2）

石狩地区の刺し網で漁獲され、調査用として提供していただいた小型個体（17尾）の年齢別尾叉長組成を図2に示しました。尾叉長は21～27㎝台で、年齢は2年魚（2019年級）と3年魚（2018年級）がほとんどでした。メスは計5尾で、そのうち2尾は未熟でしたが、3尾は成熟個体でした。オスは計12尾で全て成熟個体でした。

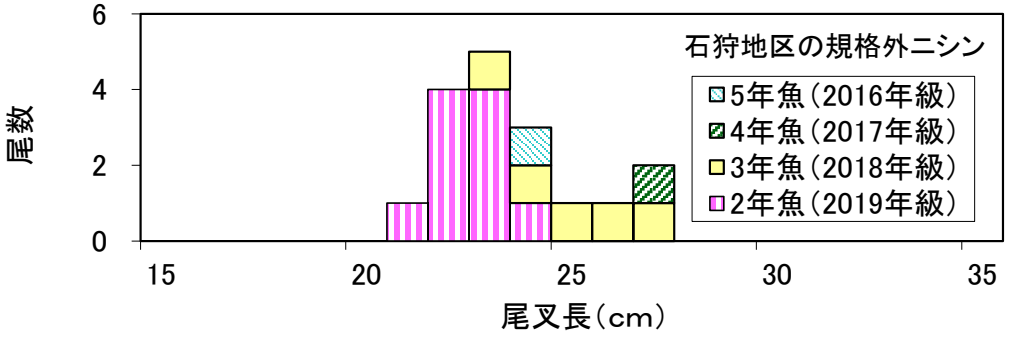
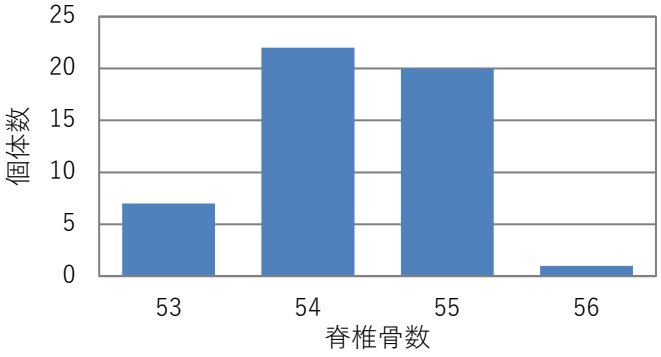


図2　2021年3月29日　石狩地区で漁獲されたニシンの小型個体



平均：54.3

石狩湾系の場合、55本の個体のほうが多く、平均は54.4を上回る

図3　図1のニシンの脊椎骨数